

KAIKE PRESS

皆生温泉のこれからを伝えるメディア
「カイケプレス」

2023 Dec. 21

第21号／令和5年12月発行



特集 「ぐるぐる」が止まらない キッズストリート、トーク、まち歩き… 皆生温泉はこれからも〈うごく〉!!



松林で奏でる太鼓の音色に
自然と子ども達も体がはずむ



皆生をもっともっと楽しい場所にしていくために、あまり有効に使われていないスペースを有効活用しながら、ちょっと未来の皆生の日常を実証実験している「ぐるぐるかいけ」。

11月25日(土)の今回は、皆生温泉街のメインストリートである四条通りを、子供たちの遊び場・体験の場に変身させる『ぐるぐるかいけ キッズストリート』として開催しました。この取り組みは、「子ども達が安心して楽しめる歩行者空間や滞留空間であれば、ユニバーサルで誰もが楽しみやすい通りや空間が実現できるのでは?」という仮説の基、そんなまちの実現可能性を探り、課題を洗い出し、よりよいまちづくりにつなげる実験としました。また、地域の子ども達が豊かな体験ができる皆生温泉であれば、将来働きなくなる場所であったり、暮らし続けたくなる場所でもあり続けられるだろう…という想いも込めています。

キッズストリートではまず、四条通りの路上の一部に交通規制をかけて歩行者天国化。子ども達が自ら工夫を凝らした商品を屋台に並べた「キッズマーケット」を開催しました。大人たちのフード出店やドリンク出店と並んで楽しい空間を演出しました。中には、形ある商品だけでなく「体験」を販売する子ども屋台も登場し、お客様に楽しんでもらえる工夫を学ぶいい機会にもなったようです。



1回100円の楽しすぎる
「てつどう」モビリティも誕生!!



歩道と、新設したベンチと、
松林の一体感がここちいい

また、四条通りの一角で大切に守られ続けている松林も開放され、もっともっと有効活用していく手法を実験しました。海辺に位置する皆生温泉の特色である松林を、これからも、大切にしつづけるための取組です。ひろびろと、木漏れ日のここちいい松林の環境を活かし、音楽を奏でたり、松ぼっくりで工作を楽しんだり、環境を活かした様々な試みを行いました。さらに、開放された松林の出入り口には、これまで

予約で確実! 便利!!
エリア内100台以上!!!
皆生温泉で遊ぶなら駐車場はアキッパ!!

〈広告募集中〉このスペースでお店や会社のPRしませんか 毎月4,000部発行

充分に活用できていなかった道路脇の植樹帯を利用したベンチも設置。たくさんの方々が腰かけておしゃべりを楽しんだり、飲食を楽しんだり、松林と道路空間のつながりが生まれ、新しい四条通りの楽しい姿が垣間見えました。

この他にも、歩行者天国には各所にくつろげる簡易ベンチを設置したり、遊べる空間を演出したり、様々な工夫を実験しました。これにより、周辺のお店のお客様もいつもよりも増えたようです。

今はまだ「実験」としてのまちの姿。でも少しづつ、みんなが心地いいまちの姿は、見えてきているのではないでしょうか?その姿を「日常」にしていくため、皆生に暮らすみなさま、こんなまちづくりに興味のあるみなさま、もっともっと遊びたいみなさま、ぜひぜひカイケラボの様々な活動に関わってみてください!!



遊んで、学んで、ふれあって…子どもから大人までここちいいまちの姿

きてみてカイケ

1月ぐるぐるかいけ! 空き不動産を使ってみる!

1月28日[日] 10:00-15:00

会場: 皆生温泉エリア空き不動産(調整中)

内容: 皆生エリアにお店が増えていくと、どうなるんだろう? 今回は、空いてる不動産などを使います! 実際に「まちの景色がどう変わるか?」をお楽しみください!!

水一広場1月開催! ベンチお披露目会

1月10日[水] 17:30-20:00

会場: 四条通り松林

内容: 1月の水一広場は、新年会を兼ねて松林前のベンチお披露目会を開催します! 新しい年の節目に、皆生の新たなスポットで食べたり飲んだりしながら語り合い、交流を楽しみましょう!



トピックかいけ

新年ならではの皆生温泉の行事を楽しんでみませんか？

皆生温泉神社の年越しイベント

場所:皆生温泉神社

12月31日 23:30 – 1月1日 1:00

新年を迎えるカウントダウンや、熊手や破魔矢などの縁起物の販売、振る舞い酒におみくじなどなど、皆生温泉ならではの雰囲気を味わいながら、みんなで集って新年を迎えてみませんか？



とんどさん

場所:皆生温泉神社



1月8日[月]8:30 – 祈祷、9:00 火入れ

一年の無病息災や家内安全などを祈願する毎年恒例のとんどさん。もちまきなどもありにぎやかになりそうです!!

WINTER SWIMMING in KAIKE 2024

寒中水泳イベントを通じて、県外旅行者や市民、地元関係者が交流を持ちなが
ら、寒さに打ち勝つ強い体と意思をつくり、一年の健康を祈願し、本年成人を迎
える新成人の門出を祝い、令和6年が最良の年であることを祈念します。クレイ
ジーな人達を見に来るだけの傍観者(笑)の方も大歓迎です!!

2024年1月13日(土)開催(申込締切2024年1月8日(月・祝)!!)

詳しくはQRコードから

『WINTER SWIMMING in KAIKE 2024』のページをご覧ください。————→



エリア経営だより

このコーナーでは、毎月の「皆生温泉エリア経営実行委員会」定例会の内容を一部お伝えしていきます!まだまだ未定のこぼれ話も楽しんでくださいませ!!

《 今日は12月6日(水)13:00から開催された定例会より 》

『ぐるぐるかいけ キッズストリート』について報告しました!!

11月25日に開催した『ぐるぐるかいけ キッズストリート』の開催成果について報告や意見交換を行いました。開催したエリアの歩行者数や滞留人数の変化について、参加した方々の反応について、今後の課題など様々な意見交換を行いました。

『ぐるぐるトーク』について報告しました!!

「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり推進のため、「マチミチstudy現地勉強会」。先進事例を視察し、各地域の担当者同士が意見交換を行う機会です。その米子開催が11月24日あり、翌日にはアフターコンベンションとして皆生温泉で「ぐるぐるトーク」を開催。皆生温泉の取組を全国から訪れる国土交通省や自治体の方に知っていただける機会となりました。地域で



活動する方々にとって、活動しやすいインフラの在り方、景観に配慮したデザイン、居心地の良い空間設計について行政とのコミュニケーションを深めて参ります。

連載インタビュー

カイケを動かす人

皆生温泉エリアで活躍する様々な人へインタビューをしています。

今月は、

皆生トライアスロン協会の副競技委員長の野嶋功さん

に、皆生トライアスロンの原点と、それを守り続ける想いについて話していただきました。



16回皆生大会に出場した時の当時の写真

インタビュアー:野嶋さんが、皆生トライアスロンと関わり始めたのは、第6回大会の友人の応援からだった。翌年にはボランティアとして参加するようになり、第8回大会からは競技者としても参加。

野嶋さん:初めての競技は本当にしんどかったよ。暑いし、疲れるし、でも不思議と楽しかった。何が楽しいかっていうと、やっぱり自分の限界に挑戦できること、そして仲間たちと一緒に頑張ることが楽しかったね。でも、2度とやりたくないってのも思ったよ。(笑)翌年の第9~20回大会も競技者として参加したんだけどね。

インタビュアー:第21回大会以降、野嶋さんは競技者としてではなく、運営側で皆生トライアスロンを支えていきます。鳥取県トライアスロン協会が設立されたのは、1994年の第14回大会の時。それまでは、協会という組織ではなかった。オリンピックの種目になるためにも、トライアスロンを盛り上げていこうという流れがあり… (つづきはwebで)

カイケラボWebで全文をご覧ください →

